

平成27年度

特定非営利活動法人 **子どもの森**

総 会 議 案 書



春をたのしもう（4月5日開催）

日 時：平成27年4月29日（水）9時30分～

場 所：森の学舎
もり まなびや

総 会 次 第

1. 開会のことば
2. 議長選出
3. 議事録署名人任命
4. 資格審査報告
5. 報告事項
 - I. 平成26年度活動経過報告について
 - II. 、 、 活動決算報告について
 - III. 監査報告
6. 議案
 - I. 平成27年度活動方針（案）について
 - II. 、 、 活動計画書（案）について
 - III. 役員改選（案）
7. 議長降壇
8. 閉会のことば

お楽しみ会（11：30～）

総 会	日 時	場 所
設立総会	平成15年7月12日（土）13:00	子どもの森事務所
第2回通常総会	平成16年4月15日（木）10:30	子どもの森事務所
臨時総会（第3回）	平成16年11月19日（金）19:30	クリエイティブセンター門川
第4回通常総会	平成17年5月8日（日）10:00	門川町商工コミュニティセンター APIO
第5回通常総会	平成18年4月22日（土）18:00	門川町中央公民館
第6回通常総会	平成19年5月20日（日）16:00	ガーデンベルズ延岡エメラルドの間
第7回通常総会	平成20年5月17日（土）10:00	（仮称）森の学舎（旧西門川小学校松瀬分校）
第8回通常総会	平成21年4月25日（土）10:00	森の学舎
第9回通常総会	平成22年4月25日（日）10:00	森の学舎
臨時総会（第10回）	平成22年10月13日（水）19:30	クリエイティブセンター門川
第11回通常総会	平成23年4月24日（日）9:30	森の学舎
第12回通常総会	平成24年4月22日（日）9:30	森の学舎
第13回通常総会	平成25年5月6日（月）9:30	森の学舎
第14回通常総会	平成26年4月27日（日）9:30	森の学舎

はじめに

5 農林漁業は、食料など農海産物を生産するだけでなく、その生産活動を通じて、国土の保全、水資源の涵養（かんよう）、自然環境や美しい景観の形成、伝統文化や食文化の継承など、国民の暮らしや環境にとって欠かせない役割を果たしています。これらの役割を総称して、「多面的な役割」又は「多面的機能」と呼んでいます。

10 農林業の多面的な役割は、各国の自然条件や農林業生産の内容によっても異なりますが、日本の場合には中山間地域や水田の果たす役割が非常に大きいのが特徴です。

たとえば、中山間地域にある水田は、一般に河川の上流にあることから、大雨が降ったときに水量を調節するダム役割を果たし、下流の都市を洪水から守ります。また、棚田は美しい景観や生態系の保存にとって欠かせない役割をもっています。漁業は河川や海の自然環境が悪化したら敏感に影響を受ける産業です。

15 私たちの食料を生産する生活の根本的な産業である自然環境の中で培われている農林漁業や里山等の自然体験交流を通して、自然環境の大切さを知るための啓発的な活動を継続します。

20 人や動植物にやさしい自然環境と水源かん養や災害の防止など森林の公益的機能の維持増進を図るため、杉と広葉樹の（針広）混交林（子どもの森1号地）と門川高校演習林災害後の再生（GOCANの森）、森の学舎裏山の竹林の整備（妖精の森）の森づくりを行なっています。会員・一般参加者・森林ボランティア（森林サポーター）等に呼びかけ、継続した森づくり活動に取り組んでいきます。

30 地球温暖化や荒れた森林、河川や海の汚染等の環境問題に関心を持ち考えてもらうために、森林・河川・里山等を活用した体験型啓発活動を開催します。広く参加者を募って、環境プログラム（体験型環境学習）に参加してもらい、『あなたのできること私のできること』をキーワードに、個人でも取り組める環境問題への活動に気付いてもらい、できるだけ良い自然環境を子どもたちに残していくことを、多くの方が実践してもらうための基盤整備を進めていきます。

35

報告事項Ⅰ. 平成26年度活動経過報告

1. 事業の成果

- 5 ①環境プログラム（川をたのしく親しもう、森で過ごそう！森に学ぼう！、春をたのしもう）と環境学習の受け入れを実施することで里山等の自然体験交流と自然環境を理解してもらうための啓発活動ができた。
- ②県北地域の親子が、11カ月間を通して自然環境を考える体験型環境学習（四季をまるごと体験e c oスクール）で、より深く多面的に自然環境を理解してもらう啓発活動ができた。
- 10 ③環境文庫（森の学舎）にて、森の学舎の土日活用と環境問題全般を学習できる場を提供することができた。
- ④平成21年度から始めた竹林の整備にて森林環境の保全活動ができ、森林環境セミナーの開催によって森林環境の啓発活動ができた。
- ⑤エコプロダクツ2014へのブース出展により、子どもの森の活動全般を宮崎県外にPRできた。
- 15 ⑥Webページとfacebook、広報紙の発行により、活動の情報発信と環境問題の啓発活動ができた。

2. 事業内容（特定非営利活動に係る事業）

（1）農林漁業などの産業体験や里山等の自然体験交流事業

- 20 ①川を活用した自然体験交流（川をたのしく親しもう）
- ・実施日：7月27日
 - ・実施場所：森の学舎と五十鈴川
 - ・参加者：8家族25人（内幼児10人）
 - ・スタッフ：6人
- 25 ②森林を活用した自然体験交流（森で過ごそう！森に学ぼう！）
- ・協力：宮崎県シェアリングネイチャー協会（5人）
 - ・後援：宮崎県教育委員会
 - ・助成等：子どもゆめ基金
 - ・概要：親子を対象に、ネイチャーゲームで自然をさまざまな感覚や心を通じて理解し、自然と自分が一体であることを学び、川あそびをとおして自然の豊かさを楽しみ、自然の大切さを学んだ。この体験を通して豊かな森と水を含め環境を守るために参加者が自分で出来ることを見つけるためのきっかけづくりができた。
- 30 ③森林を活用した自然体験交流（森で過ごそう！森に学ぼう！）
- ・実施日：11月30日
 - 35 ④森林を活用した自然体験交流（森で過ごそう！森に学ぼう！）
 - ・実施場所：森の学舎
 - ・参加者：3家族11人（内子ども5人）
 - ・スタッフ：3人
 - ・後援：宮崎県、宮崎県教育委員会
 - ・助成等：子どもゆめ基金、森林環境教育先導モデル事業
 - 40 ⑤野草を活用した自然体験交流（春をたのしもう）※平成27年度の収支となります
 - ・取材：わいWaiTV
 - ・概要：樹木の二酸化炭素吸収量を測定し、樹木が二酸化炭素削減に大きな役割を果たしていることを学習した。また、参加者がドングリを自宅で苗木へと育てるために、ドングリの竹ポットを作った。自然における樹木に愛着を持ち樹木の大切さを知ることで、自然環境を理解する啓発活動となった。参加者で育てたドングリの苗木は、数年後に地域の山への植樹へと発展させる。
- 45 ⑥野草を活用した自然体験交流（春をたのしもう）※平成27年度の収支となります
- ・実施日：平成27年4月5日
 - ・実施場所：森の学舎と周辺

- ・参加者：大人=19人、子供=23人（内小学校就学前幼児12人）
- ・スタッフ：6人
- ・講師：成迫平五郎氏（宮崎県環境アドバイザー・県北植物愛好会）
- ・概要：森の学舎のグラウンドと周辺の田んぼや土手で、食べることができる野草・山菜を採り収穫し料理をして春の自然を楽しみ自然の大切さを学んだ。

④イオン延岡店チアーズクラブ

- ・実施日：9月13日
- ・実施場所：森の学舎
- ・受入人数：子供15人と大人10人
- ・スタッフ：2人
- ・協力：ファニックス宮崎シェアリングネイチャーの会（1人）
- ・概要：イオンが取り組んでいるチアーズクラブ（小学生の子どもたちに環境に関する体験や学習）への協力で、ネイチャーゲームを森の学舎でおこなった。大人も子供と一緒にってネイチャーゲームを通して自然に触れ親しんだ。

⑤イオン日向店チアーズクラブ

- ・実施日：10月11日
- ・実施場所：森の学舎
- ・受入人数：子供12人とサポーター（大人）4人
- ・スタッフ：5人
- ・助成等：森林環境教育先導モデル事業
- ・概要：日向店チアーズクラブからの依頼を受け、樹木についての環境学習を開催した。樹木の二酸化炭素吸収量の計算と竹ポットでの苗木育て、他に野外炊飯（焙り焼きソーセージ作り）を行い、自然に慣れ親しむことができた。

⑥椎茸ホダ木の管理（ほだ場作業）

森の学舎のほだ場に本伏せにしているホダ木から椎茸の収穫を行った。収穫した椎茸は、環境学習等のお昼に提供する味噌汁等の食材として利用した。

(2) 中山間地の荒廃した里山の環境保全再生事業

①子どもの森1号地

平成18年3月に400本を植樹した子どもの森1号地は、苗木も大きくなり下草刈の必要がなくなり現状調査を実施しました。センダンの樹高は3m以上になり、その他種の樹木も人間の背丈よりも高くなっています。

②GOCANの森

門川高校生と協働して実施した森林の再生活動（平成19年3月に植樹、平成25年3月に補植樹）をした門川高校実習林の苗木が大きくなり下草刈の必要がなくなり現状調査を実施しました。ケヤキの樹高は3m近くなり、ヤマザクラは花を咲かせています。

③妖精の森（放置竹林の広葉樹林への復元活動）

- ・実施日：随時
- ・実施場所：森の学舎裏の竹林（門川町大字川内字イカダ場）/妖精の森
- ・概要：手入れがされず放置されている竹林を、子どもが入り遊ぶことができる広葉樹の林に再生し、人や動植物にやさしい自然環境と水源かん養や災害の防止など森林の公益的機能の維持増進を図るために、平成21年度から継続して竹の伐採を続けている。これまで伐採した竹林の面積は約0.2haを超え、下記のように伐採した竹の有効活用もおこなった。
 - 1) 四季をまるごと体験ecoスクールの竹イカダ材料
 - 2) エコプロダクツ2014で販売するチップとパウダー作り

(3) 地域の自然環境などを理解してもらうための啓発活動

①四季をまるごと体験ecoスクール

- 5
10
15
20
25
30
35
- ・実施日：5月24日、5月31日、6月21日、7月12日、8月17日、9月6日、10月25日、11月22日、平成27年1月24日、2月28日、3月14日 計11日間
 - ・実施場所：森の学舎
 - ・参加者：8家族18人（内小学校4年生～6年生11人）
 - ・スタッフ：延べ7人
 - ・助成等：子どもゆめ基金
 - ・取材：MRTラジオ「エ・コ・コロカフェ」（8月17日）
 - ・概要：地域の小学生とその保護者に対して、四季を通じた自然体験や農業体験から自然の大切さを理解し、将来の自然環境の守り手に育ててもらうために、11カ月の期間を通して、同じ参加者によるスクール形式で下記のことを実施した。
 - 1) ネイチャーゲーム（宮崎県シェアリングネイチャー協会）
 - 2) 麦刈り・脱穀
 - 3) ダンボールコンポストによる堆肥づくり（宮崎ダンボールコンポスト門川支部）
 - 4) 昆虫観察（新開孝氏）
 - 5) ecoスクール旗づくり
 - 6) 竹イカダを作り川下りによる河川清掃
 - 7) 川の生きもの調査
 - 8) 海水を使っての塩づくり
 - 9) 麦畑づくり、麦種蒔き
 - 10) イチゴの収穫（松田農園）とイチゴ酵母づくり
 - 11) 乳牛牧場（矢北牧場）での酪農体験とバターづくり
 - 12) 石臼による小麦挽き
 - 13) パンづくり
 - 14) 文集制作

スタッフの準備活動として、各回に実施する内容の準備や後片付け等を下記の通り行った。

- 5
10
15
20
25
30
35
- 5月17日：年間の打ち合わせと麦刈り脱穀の事前準備
 - 7月5日：竹イカダの試作
 - 7月26日：竹イカダ昇降場の草刈り
 - 8月30日：塩づくりのための海水汲み
 - 10月18日：麦畑の堆肥づくり場設置と水抜き溝掘り
 - 12月13日：麦踏み

②森林環境セミナー（知識習得編）

- 40
45
50
- ・実施日：5月6日
 - ・実施場所：森の学舎
 - ・受講者：4人
 - ・スタッフ：2人
 - ・講師：高木正博氏（宮崎大学農学部准教授）
成迫平五郎氏（宮崎県環境保全アドバイザー・県北植物愛好会）
横山謙一氏（子どもの森理事長）
 - ・後援：宮崎県、みやざき森づくりボランティア協議会
 - ・助成：平成25年度「緑と水の森林ファンド」公募事業
 - ・概要：環境問題への取組みのひとつである森づくり活動に継続して参加するボランティアの必要な知識を習得するためのセミナーで、今回が6年目（6度目）の開催となった。森づくり活動の醍醐味は植樹だが、植樹後の下草刈り等の育林作業が疎かになり植えた苗木を枯らしてしまうこともある。森づくり活動は、植樹の準備から下草刈りの必要がなくなる程度まで苗木を育てる継続した活動であることを学ぶ。

③森林環境セミナー（作業体験編）

- 5
- ・実施日：5月11日
 - ・実施場所：森の学舎
 - ・受講者：6人
 - ・スタッフ：1人
 - ・講師：岩田幸生氏（安全技術指導員（林災害防止協会））
横山謙一氏（子どもの森理事長）
 - ・後援：宮崎県、みやざき森づくりボランティア協議会
 - 10
 - ・助成：平成25年度「緑と水の森林ファンド」公募事業
 - ・概要：森づくりボランティアで必要となるチェーンソー・粉碎機等の山林作業機械及び作業体験で、4月の知識習得編の続編として開催した。

15 (4) 市民活動の活性化に関わる企画、コーディネート事業
実施できなかった。

(5) 活動の情報発信・啓発のための事業

①Webサイトとfacebookの運営

- 20
- ・実施時期：4月～平成27年3月
 - ・概要：子どもの森のすべての活動と自然環境啓発等を、月平均3.3回のWebページ更新にて情報発信し、1日平均6.8件のWebページ（トップページ）の閲覧があった。facebookは、年間68回の投稿を行った。

②機関紙の発行

- 25
- ・発行月：6月
 - ・概要：子どもの森の前年度活動と自然環境啓発等を、機関紙「子どもの森通信11号」をA4サイズ12ページで発行をして情報発信ができた。機関紙は、正会員・賛助会員・行政機関・活動助成元等と、子どもの森の活動の関係者へ配布した。また、Webページからもダウンロードできるようにした。
- 30

③事業案内チラシの作成

- 35
- ・実施時期：各事業の開催1カ月～2カ月前
 - ・概要：宮崎県や宮崎県教育委員会等の後援をもらい、それぞれの事業や活動の案内チラシや参加者募集チラシを作成した。主に県北の図書館や近隣のスーパー等においてもらった。また、Webページからもダウンロードできるようにした。参加者の募集は、facebookと地元新聞社掲載でもおこなった。

④エコプロダクツ2014へのブース出展

- 40
- ・実施日：12月10日～12日
 - ・実施場所：東京ビックサイト
 - ・概要：子どもの森の活動を全国に発信するために、昨年引き続きエコプロダクツにブース出展した。クイズに挑戦してプレゼントしている「色えんぴつ」が好評で、ブース訪問者にドングリ・木の実クイズに挑戦してもらった。他の出展しているブースにも見学に行ったりと見聞を広げることができた。また、ネイチャークラフト体験、竹パウダーと色鉛筆の販売も行った。※えんぴつ×4、妖精キット×4、ネイチャークラフト体験×15
 - 45
 - エコプロダクツ事務局から、来場者数は3日間で161,347名と発表があった。

(6) その他目的を達成するために必要な事業

①森の学舎の有効活用としての施設開放

- 50
- 1) 門川町教育振興研修会によるネイチャーゲームと釜戸を使っての豚汁作りの体験(10月21日)

2) 食育アイランド九州延岡交流会（平成27年2月20日）

②森の学舎の環境整備

- 5
- ・花壇の撤去（2か所）
 - ・管理棟に整理棚を設置
 - ・グラウンドの草刈
 - ・郵便ポストの設置

③連合宮崎県北地協ふれあい祭り（5月25日）

- 10
- ・参加者：横山理事長、横山理事、会員1名
 - ・場 所：延岡市妙田緑地公園
 - ・概 要：労働組合である連合宮崎県北地域協議会が主催する組合員のふれあいを目的とした祭りに、連合愛のカンパを受けた団体としてブース参加した。

15 3. 寄付金・助成金等

(1) 「緑と水の森林ファンド」公募事業（国土緑化推進機構）

森林環境セミナーの助成として、事業費122千円（前年度計上分含む）に対して、125千円の助成を受けました。

20

(2) 子どもゆめ基金（国立青少年教育振興機構）

①四季をまるごと体験e c oスクール（第4期）開催の事業費489千円に対して、371千円の助成を受ける予定です。

②川をたのしく親しもう開催の事業費121千円に対しての助成額は、104千円でした。

25 ③森で過ごそう！森に学ぼう！開催の事業費38千円に対して、30千円の助成を受ける予定です。

(3) イオン黄色いレシートキャンペーン

黄色いレシートキャンペーンの投函箱を、ホームワイド出北店・マックスバリュース南延岡店/岡富店・ホームワイド財光寺店・イオン日向店に設置しています。投函されたレシート金額の1%が団体に商品券で寄贈されます。平成26年度は、95千円の商品券が寄贈されました。商品券については、一般管理費と助成事業での自己負担額に充当しました。

30

(4) ろうきんNPO寄付

預金者が応援したいNPO法人へ、希望する金額を希望する日に、預金者に代わって普通預金口座から寄付先団体の口座に自動振替する制度です。1回の寄付額は100円以上（100円単位）です。平成26年度は、22件6千円（平成27年2月現在）の寄付がありました。

35

(5) プルデンシャル生命保険株式会社

森づくりフォーラムよりプルデンシャル生命保険（株）が行う「e-約款」等の2013年度同社県別実績に基づく寄付金の寄付先団体として推薦していただき、39千円の寄付をいただきました。この寄付金は、エコプロダクツ2014の参加にかかる費用としました。

40

(6) 有限会社みのり

全国展開している株式会社ライズエージェンシー（デザイン・印刷会社）の社会貢献・地域貢献の一環として、有限会社みのりの仲介でWebページ上にバナーを半年間掲載（平成27年5月25日まで）することで、5千円の寄付をいただきました。

45

(7) 事業収益と一般寄付

四季をまるごと体験e c oスクール・川をたのしく親しもう・森で過ごそう！森に学ぼう！・森林環境セミナーの参加費、エコプロダクツ2014と森の学舎開放での収入及び一般寄付等で、総額1

50

65千円がありました。事業での参加費と収入はそれぞれの事業に、一般寄付は管理費と各助成事業での自己負担額に充当しました。

4. その他

5

(1) 協働創出市について

昨年度は、協働創出市を担当できるスタッフの確保ができなかったため応募しませんでした。県北では応募団体がなく開催されなかったようです。

10 (2) 森づくりボランティア協議会

横山理事長が理事として就任している森づくりボランティア協議会主催の下記の活動に参加協力しました。

15 ①総会：6月15日

宮崎市高岡交流プラザで開催された総会に、横山理事長、横山理事他会員1名で参加しました。ひむかり山自然塾が手掛けているフィールド視察も同時開催されました。

20 ②みんなの森づくり講演会：10月5日

宮崎県立図書館2階研修ホールで開催された「葉草で健康づくり～山は葉草の宝庫～」村上光太郎氏（崇城大学薬学部教授）、「森林環境税を活用した森づくり」高木正博氏（宮崎大学農学部准教授）の講演会に、スタッフとして横山理事長と横山理事他会員1名が参加しました。

(3) 新聞報道等で、子どもの森の活動紹介が、下表の様にありました。

わい WaiTV	四季をまるごと体験 eco スクール（開校）	5月30日放送
	森で過ごそう！森に学ぼう！	12月4日放送
MRT ラジオ (E・コ・コカ)	四季をまるごと体験 eco スクール（第5回）	8月25日放送

25 (4) 2014 まちむら地域・人づくり現地セミナー（九州地区）

まちむら交流きこう参事の畠山徹氏による「廃校活用と地域活性化 ～全国の多様な事例紹介とポイント～」と題した講義、島根県中山間地域研究センター地域研究グループ主席研究員の有田昭一郎氏による「地域づくり活動への支援～島根県中山間地域での事例紹介とポイント～」と題した講義、地域再生診療所所長の井上弘司氏による「自立分散型社会と都市農村交流」と題した講義、有限会社ひまわり亭代表取締役の本田節氏による「農村女性の生きがいと働き場の場づくり～ひまわり亭の取り組みと挑戦～」と題した講義が行われました。子どもの森の活動を発展させるヒント（具体的ではなく感覚的な）を得ることができました。

- ・参加者：横山理事
- ・場 所：きくちふるさと水源交流館（熊本県菊池市）
- ・日 時：9月1日

35

(5) 参加者の声

広く地域に参加者を募集して開催した環境学習に参加した方の感想を一部抜粋します。

40 ①川をたのしく親しもう

・今日は本当に参加できて幸運でした。定員に達していたのに参加させて下さりありがとうございました。本当に楽しかったです。延岡にも小野町に沖田ダム近く川を浅く堰き止めて遊べる場所がありますので、今日学んだ様に遊んでみようと思います。

・すごく大きいテナガエビを見つけました。楽しかったです。アメンボになるのがすごく気持ちよかったです。楽しい一日になりました。ありがとうございました。

45

・とても楽しく子供より親の方が夢中になってしまいました。夏休みのいい思い出ができました。

来年も参加したいです。ありがとうございました。

・思っていた以上に楽しかったです。楽しくてあっという間でした。流しそうめんもとても楽しくて、いろいろなものが食べれました。とても美味しかったです。

5 ・今回参加させて頂いてとても楽しく過ごすことができました。普段体験させてあげられない事ができてよい経験になりました。友達から誘って頂いたことに感謝です。この案内がもっと広くひろまればと思います。次の機会も参加できればと思います。

・ものすごく楽しい会でした。宮崎より参加しましたが、本当に来てよかった。子供たちも夏の思い出ができて満足そうでした。来年も参加したいです。

10 ・お天気も良く川がとてもきれいで気持ち良かったです。子供たちもたくさん生き物を見ることができ、エビを捕まえることができ、夏休みの楽しい思い出の一つになったと思います。川に浮かんで流れる、大人も楽しかったです。ありがとうございました。

②森で過ごそう！森に学ぼう！

15 ・とても楽しく過ごさせました。また皆で参加したいと思います。ご飯もデザートも蒸しパンもとても美味しくて、たくさんおかわりをして食べました。工作も親子で夢中になって良かったです。

・ドングリ工作は、大人の方が熱中してしまいました。ドングリの苗床作り、今日学んだので、自宅でちゃんと枯らさずに育て、2年後には持ってこれるように頑張りたいです。土日しか外で遊べませんが、なるべく木のある場所で自然のもので遊ばせていこうと思います。

20 ・普段体験できないこと自然に触れ参加者皆さん楽しい時間を過ごし熱心で、私も楽しかったです。

・薪でのご飯は大変美味しくいただきました。子供が喜んでるのが、一番ありがたいです。

・ソーセージ作り良かったし美味しかった。羽釜のご飯もとても味が美味しかった。環境のために、省エネ+木を植えることを今後は考えていきたい。工作は童心に帰ってのめりこみました。子供と共に深めました。

③春をたのしもう

25 ・親子ともに初めての野草採りができて楽しかったです。野草の知識が全くなかったので、とても勉強になりました。自分たちで採ったものを調理したので、ひときわ美味しく感じました。子供たちももりもり食べ、お友達もできて、充実した時間を過ごすことができました。

30 ・セリ、ヨモギ、ミツバの見分けがつかうようになりました。ノビルが美味しかったです。こんなに身近に美味しい野草があることに驚き、春が楽しくなりました。セリやミツバは家の近くの山で探してみようと思います。

・子どもに生きる力を付けさせたいと思い参加しました。久しぶりに自然の中にどっぷりと浸かることができました。

・野草の収穫で食べれるものがわかったのが良かったです。

35 ・収穫し調理して食べる貴重な体験ができて良かったと思います。お店でしか目にしないものなど、何処にどうやって生えているかとても勉強になりました。



森林環境セミナー（知識習得編）



森林環境セミナー（作業体験編）

平成26年度事業経過一覧

月	実施日	活動名	場所	備考/内容
4	6(日)	森林環境セミナー (知識習得編)	森の学舎	講師:高木正博宮大農学部准教授、成迫平八 郎宮崎県環境保全アドバイザー、横山理事長
	12(土)	会計監査	事務局	
	19(土)	理事会	事務局	
	27(日)	総会	森の学舎	総会終了後にお楽しみ昼食会
5	4/29(祝)、30(水) 2(木)、3(祝)、4(祝) 5(祝)、6(祝)	森の学舎の整備	森の学舎	
	10(土)	前年度ecoスクール	森の学舎	イチゴ狩り、お菓子作り
	11(日)	森林環境セミナー (作業体験編)	森の学舎	講師:岩田幸生安全技術指導員(林災害防止 協会)、横山理事長
	17(土)	ecoスクール準備	森の学舎	打ち合わせ、麦刈りの予行練習
	24(土)	ecoスクール	森の学舎と ecoスクール麦畑	開校式、ネイチャーゲーム、麦刈り、脱穀
	25(日)	連合県北地協まつり	延岡市妙田緑地	ブース出展
6	8(日)	森の学舎整備	森の学舎	脱穀、風選 花壇撤去
	15(日)	みやざき森づくりボラン ティア協議会総会	交流プラザ (宮崎市高岡)	
	21(土)	ecoスクール	森の学舎	麦畑用堆肥づくり(ダンボールコンポスト)、旗づ くり、昆虫観察:新開孝昆虫写真家
7	5(土)	ecoスクール準備	森の学舎と 五十鈴川	竹イカダ試作→竹イカダ試乗→河川清掃の下 見
	6(日)	森の学舎整備	森の学舎	草刈り
	12(土)	ecoスクール	森の学舎	竹イカダ作り
	19(土)	川をたのしく親しもう準備	森の学舎	そうめん流し準備、更衣室準備
	26(土)	ecoスクール準備	五十鈴川	河川清掃の終点付近の草刈り
8	27(日)	川をたのしく親しもう	森の学舎と 五十鈴川	ネイチャーゲーム、川あそび、川の生き物調 査、そうめん流し
	2(土)	ecoスクール番外	森の学舎	ピザ道場
	17(日)	ecoスクール	森の学舎と 五十鈴川	竹イカダで河川清掃、川の生き物調査
9	30(土)	ecoスクール準備	日向灘	海水汲み
	6(土)	ecoスクール	森の学舎	塩作り
10	13(土)	イオンチアーズクラブ (延岡店)	森の学舎	ネイチャーゲーム
	5(日)	みんなの森づくり講演会	宮崎県立図書館	みやざき森づくりボランティア協議会主催
	11(土)	イオンチアーズクラブ (日向店)	森の学舎	樹木の二酸化炭素吸収量、ドングリの苗木ポッ ト
	18(土)	ecoスクール準備	森の学舎と ecoスクール麦畑	堆肥づくり場作り、畑周辺の草取り、畑周辺の 畦作り
	21(火)	門川町教育振興研修会	森の学舎	ネイチャーゲームと豚汁づくりのサポート
11	25(土)	ecoスクール	ecoスクール麦畑	麦畑づくり
	22(土)	ecoスクール	森の学舎と ecoスクール麦畑	麦畑づくり、麦まき、野外炊飯
	29(土)	森で過ごそう!森に学ぼ う!準備	森の学舎	竹ポット、竹串、色鉛筆の準備
12	30(日)	森で過ごそう!森に学ぼ う!	森の学舎	竹ポット作り、ドングリ工作、環境学習、野外料 理
	10(木)~12(土)	エコプロダクツ2014	東京ビックサイト	横山理事
1	13(土)	ecoスクール番外	ecoスクール麦畑	麦踏み
	24(土)	ecoスクール	矢北牧場	牧場での酪農体験
2	20(金)	食育アイランド交流会	森の学舎	施設開放(九州農政局延岡地域センター主催)
	28(土)	ecoスクール	森の学舎	酵母作り、小麦粉作り
3	14(土)	ecoスクール	森の学舎	バターづくり、パン生地づくり、パン形成、パン焼 き、文集作成、閉校
	28(土)	春をたのしもう準備	森の学舎	野草の調査
4	5(日)	春を楽しもう	森の学舎と周辺	植物観察と山菜料理
	12(日)	理事会	森の学舎	

報告事項Ⅱ. 平成26年度活動決算報告

平成26年度 特定非営利活動に係る活動計算書
(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)

科目	金額		備考
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取会費	71,000		正会員:13人×5,000、特別会員:1人×1,000、前年度未納分:5,000 1人×5,000
賛助会員受取会費	5,000	76,000	
2. 受取寄付金			
受取寄付金	157,327		イソ黄色いシート、ろうきんNPO寄附金、森づくりフォーラム、有)ミノリ 他 宮崎県の最低賃金にて評価
ボランティア受入評価益	483,883	641,210	
3. 受取助成金等			
受取助成金		711,203	子どもゆめ基金、緑と水の森林ファンド、森林環境教育先導モデル事業
4. 事業収益			
自主事業収益		149,395	各プログラム参加費、森の学舎使用料
5. その他収益			
雑収入		4,051	損害保険返戻、預金利息
経常収益計		1,581,859	
II 経常費用			
1. 事業費			
(1)人件費			
給料手当	69,000		ecoスクール、川をたのしく、森で過ごそう、イオン日向店チアーズクラブ 同上
臨時雇賃金	98,000		
ボランティア評価費用	306,002		宮崎県の最低賃金にて評価
人件費計	473,002		
(2)その他経費			
諸謝金	200,500		ecoスクール、川をたのしく、森林環境教育、森林環境セミナー ecoスクールチラシ印刷(業者)、他事業はトナー代
印刷製本費	244,520		
広告宣伝費	15,900		ecoスクール、森林環境セミナーの新聞広告 ecoスクール、川をたのしく、森で過ごそう、森林環境セミナー、エコプロダクツ
旅費交通費	96,230		
通信運搬費	25,204		同上
消耗品費	113,676		
損害保険料	19,634		ecoスクール 他事業すべて ecoスクール、川をたのしく、森林環境教育、森林環境セミナー
雑費	49,228		
その他経費計	764,892		エコプロダクツ出展費・宿泊代
事業費計		1,237,894	
2. 管理費			
(1)人件費			
給料手当	0		宮崎県の最低賃金にて評価
臨時雇賃金	0		
ボランティア評価費用	177,881		
人件費計	177,881		
(2)その他経費			
修繕費	2,990		耕うん機修理
旅費交通費	6,540		森づくりボランティア協議会総会、森づくり講演会
通信運搬費	41,250		助成金申請・報告、事務局電話料、森の学舎携帯
消耗品費	52,661		掃除機、文房具 他
諸会費	3,000		みやざき森づくりボランティア協議会
会議費	3,500		総会
研修費	7,000		まちむら地域・人づくり現地セミナー受講料、会員の事業参加費
損害保険料	6,300		活動全般レクレーション保険
租税公課	1,800		印紙、印鑑証明 他
施設管理費	153,034		森の学舎(土地賃借料、浄化槽管理費、電気代) 他
減価償却費	173,056		チャージャーシュレッダー2台、簡易炭窯
その他経費計	451,131		
管理費計		629,012	
経常費用計		1,866,906	
当期正味財産増減額		-285,047	
前期繰越正味財産額		2,345,979	
次期繰越正味財産額		2,060,932	

平成26年度事業別活動計算書

科目	四季をまよご ごと体験eco スタイル	川をたのしく 親しまおう	森で過ごす！ 森に学ぼう！	森林環境教 育先導モ ル事業	森林環境セ ミナー	妖精の森 (竹林整備)	森の学舎整 備	エコログラ フ	事業部門計	管理部門	合計
I 経常収益											
1. 受取会費											
正会員受取会費	--	--	--	--	--	--	--	--	--	71,000	71,000
賛助会員受取会費	--	--	--	--	--	--	--	--	--	5,000	5,000
2. 受取寄付金											
受取寄付金	--	--	--	--	--	--	--	--	--	157,327	157,327
ボランティア受入評価益	66,007	16,248	6,431	27,757	16,586	5,416	131,676	35,881	306,002	177,881	483,883
3. 受取助成金等											
受取助成金	373,020	104,842	30,436	103,739	125,210	0	0	0	737,247	△ 26,044	711,203
4. 事業収益											
自主事業収益	102,900	16,000	7,200	0	5,000	0	0	7,800	138,900	10,495	149,395
5. その他収益											
雑収入	--	--	--	--	--	--	--	--	--	4,051	4,051
経常収益計	541,927	137,090	44,067	131,496	146,796	5,416	131,676	43,681	1,182,149	399,710	1,581,859
II 経常費用											
(1) 人件費											
給料手当	42,000	3,000	6,000	18,000	0	0	0	0	69,000	0	69,000
臨時雇賃金	66,000	18,000	6,000	8,000	0	0	0	0	98,000	0	98,000
ボランティア評価費用	66,007	16,248	6,431	27,757	16,586	5,416	131,676	35,881	306,002	177,881	483,883
人件費計	174,007	37,248	18,431	53,757	16,586	5,416	131,676	35,881	473,002	177,881	650,883
(2) その他経費											
修繕費	--	--	--	--	--	--	--	--	--	2,990	2,990
諸謝金	112,700	56,800	0	0	31,000	0	0	0	200,500	0	200,500
印刷製本費	135,000	12,960	12,960	30,240	53,360	0	0	0	244,520	0	244,520
広告宣伝費	5,400	0	0	0	10,500	0	0	0	15,900	0	15,900
旅費交通費	48,400	8,700	6,150	0	11,600	0	0	21,380	96,230	6,540	102,770
通信運搬費	4,166	648	698	1,418	864	0	0	17,410	25,204	41,250	66,454
消耗品費	57,358	20,084	6,969	19,677	7,800	0	1,311	477	113,676	52,661	166,337
諸会費	--	--	--	--	--	--	--	--	--	3,000	3,000
会議費	--	--	--	--	--	--	--	--	--	3,500	3,500
研修費	--	--	--	--	--	--	--	--	--	7,000	7,000
損害保険料	13,584	1,050	0	0	5,000	0	0	0	19,634	6,300	25,934
租税公課	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1,800	1,800
施設管理費	--	--	--	--	--	--	--	--	--	153,034	153,034
雑費	5,800	0	0	0	0	0	0	43,428	49,228	0	49,228
減価償却費	--	--	--	--	--	--	--	--	--	173,056	173,056
その他経費計	382,408	100,242	26,777	51,335	120,124	0	1,311	82,695	764,892	451,131	1,216,023
経常費用計	556,415	137,490	45,208	105,092	136,710	5,416	132,987	118,576	1,237,894	629,012	1,866,906
当期経常増減額	△ 14,488	△ 400	△ 1,141	26,404	10,086	0	△ 1,311	△ 74,895	△ 55,745	△ 229,302	△ 285,047

※ボランティア受入評価益とボランティア評価費用について
活動計算書には、反映させていません。
事業部門は1日一人の作業ボランティア参加を3Hとし、宮崎県の最低賃金にて計上している。
管理部門と事業部門の事務処理は実時間で、宮崎県の最低賃金にて計上している。

《参考》

平成26年度 特定非営利活動に係る活動計画書
(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)

科目	金額		備考
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取会費	77,000		正会員:15人×5,000、特別会員:2人×1,000
賛助会員受取会費	45,000	122,000	9人×5,000
2. 受取寄付金			
受取寄付金	160,000		イオン黄色いレシート、ろうきんNPO寄附金、個人寄付 他
ボランティア受入評価益	--	160,000	
3. 受取助成金等			
受取助成金		868,000	子どもゆめ基金:718千、緑と水の森林ファンド:150千
4. 事業収益			
自主事業収益	168,900		各プログラム参加費、森の学舎使用料
委託事業収益	0	168,900	
5. その他収益			
雑収入		3,000	損害保険返戻、預金利息
経常収益計		1,321,900	
II 経常費用			
1. 事業費			
(1)人件費			
給料手当	81,000		ecoスクール、川をたのしく、森で過ごそう
臨時雇賃金	180,000		同上
ボランティア評価費用	--		
人件費計		261,000	
(2)その他経費			
修繕費	0		
諸謝金	201,500		ecoスクール、川をたのしく、森で過ごそう
印刷製本費	215,700		ecoスクールチラシ印刷(業者)、川をたのしく、森で過ごそうはナー代
広告宣伝費	10,500		森林環境セミナー
Webページ運営費	0		
旅費交通費	89,950		ecoスクール、川をたのしく、森で過ごそう
通信運搬費	7,190		同上
消耗品費	224,410		ecoスクール 他事業すべて
会議費	0		
損害保険料	60,420		ecoスクール、川をたのしく、森で過ごそう、妖精の森
租税公課	0		
雑費	0		
その他経費計		809,670	
事業費計		1,070,670	
2. 管理費			
(1)人件費			
給料手当	0		
臨時雇賃金	6,000		黄色いレシートキャンペーン
ボランティア評価費用	--		
人件費計		6,000	
(2)その他経費			
修繕費	30,000		プリンター保守料
印刷製本費	0		
Webページ運営費	0		
旅費交通費	12,000		物品購入、森づくりボランティア協議会の総会出席
通信運搬費	50,000		助成金申請・報告、事務局電話料、森の学舎携帯
消耗品費	10,000		文房具、お茶代 他
諸会費	3,000		みやざき森づくりボランティア協議会
会議費	3,500		総会
損害保険料	0		
租税公課	1,000		印紙、印鑑証明 他
施設管理費	160,000		森の学舎(土地賃借料、浄化槽管理費、電気代) 他
雑費	1,000		
減価償却費	173,000		チャパ・シュレッダー2台、簡易炭窯
その他経費計		443,500	
管理費計		449,500	
経常費用計		1,520,170	
当期正味財産増減額		-198,270	
前期繰越正味財産額		2,345,979	
次期繰越正味財産額		2,147,709	森の学舎修繕費目的積立¥1,000,000含む

平成26年度 特定非営利活動に係る貸借対照表 (平成27年3月31日現在)

特定非営利活動法人 子どもの森

科目	金額	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金	146,420	
普通預金	1,080,037	
未収金	508,298	
前払金	6,760	
流動資産合計		1,741,515
2 固定資産		
備品	2,085,000	
減価償却累計額	△1,765,583	319,417
固定資産合計		319,417
資産合計		2,060,932
II 負債の部		
1 流動負債		
流動負債合計		0
負債合計		0
III 正味財産の部		
基本金	2,345,979	
当期正味財産増加額(減少額)	△285,047	
正味財産合計		2,060,932
負債及び正味財産合計		2,060,932

平成26年度 特定非営利活動に係る財産目録
(平成27年3月31日現在)

特定非営利活動法人 子どもの森

科目	金額	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金	現金手元有高	146,420
普通預金	宮崎太陽銀行門川支店	1,008,445
普通預金	九州ろうきん延岡支店	71,592
未収金	子どもゆめ基金	508,298
前払金	源泉所得税年末調整超過額, 春をたのしもう	6,760
流動資産合計		1,741,515
2 固定資産		
機械及び装置	チャパ-シュレッタ* (新ダ*イ7CSE50-W)	253,050
	チャパ-シュレッタ* (大橋GS121GB)	1,330,350
	耕うん機 (HONDAビ*アンタ)	102,600
	簡易炭窯 (テサキT105型)	399,000
減価償却累計額	△1,765,583	319,417
固定資産合計		319,417
資産合計		2,060,932
II 負債の部		
1 流動負債		
流動負債合計		0
負債合計		0
正味財産 (注)		2,060,932

(注) 正味財産は「資本合計」より「負債合計」を減じた金額を記載する。
これが登記すべき「資産の総額」である。

上記財産目録に相違ない。

特定非営利活動法人 子どもの森

監査

黒木伸光 

報告事項Ⅲ. 監査報告

監査報告書

平成26年4月1日から平成27年3月31日までの理事の職務の執行に関して、本監査報告書を作成し、以下の通り報告します。

監査の結果

- この法人の会計の方法及びその結果は、相当であると認めます。
- 財産目録は、この法人の財産の状況その他の事情に照らし指摘すべき事項はありません。
- 貸借対照表は、この法人の財産の状況その他の事情に照らし指摘すべき事項はありません。
- 活動計算書は、法令及び定款に従い、この法人の状況を正しく示していると認めます。

平成27年4月12日

特定非営利活動法人 子どもの森

監事 黒木 伸光 



ecoスクール開校



ecoスクール閉校



川をたのしく親しもう



森で過ごそう！森に学ぼう！

議案Ⅰ．平成27年度活動方針―(案)―

1. 農林漁業などの産業体験や里山等の自然体験交流事業

5 (1) 椎茸栽培

平成23年度の「森林環境セミナー」と「春を楽しもう」で椎茸ほだ木（椎茸の菌を接種したコナラ木）が40本あります。本伏せを「森林環境セミナー」と「春を楽しもう」の参加者、会員や協力者へ案内をして、一昨年度5月に実施しています。また、平成22年度の「森林環境セミナー」と「春を楽しもう」での椎茸ほだ木（60本）の椎茸ホダ木があります。平成22年度の椎茸ほだ木は3年前の秋から、平成23年度に菌接種した椎茸ほだ木は一昨年の秋から収穫がはじまりました。今年度も、森の学舎での活動日に収穫をしていきたいと思

15 (2) 春の野草を楽しむ（平成28年度の収支となります）

森の学舎グラウンドと周辺の田んぼや土手で、食べることができる野草・山菜を探し収穫し料理をして、春の自然を楽しみ自然の大切さを学び知ることを進めたいと思

- ・開催日：平成28年4月3日
- ・参加数：15家族30人
- ・場 所：森の学舎

20

2. 中山間地の荒廃した里山の環境保全再生事業

(1) 子どもの森1号地

平成18年3月に400本を植樹した子どもの森1号地は、苗木も大きくなり下草刈の必要がなくなっています。昨年度の引き続き現状調査を実施して行

25

(2) GOCANの森

門川高校生と協働して実施した森林の再生活動（平成19年3月に植樹、平成25年3月に補植樹）をした門川高校実習林の苗木が大きくなり下草刈の必要がなくなっています。昨年度に引き続き現状調査を実施して行

30

(3) 妖精の森

長期計画で森の学舎裏の放置されている竹林の一部を落葉樹の林に変えて行く活動の7年目となります。今年度も平成23年度から引き続き、伐採した竹の一部を使って竹棚作り、粉碎機でチップとパウダーを作ります。また、伐採した竹の活用としての竹炭も焼いていきます。竹チップは森の学舎グラウンドで堆肥にして、竹パウダー・竹炭については、ふれあいの里等での試販売を続けていきます。他に、ecoスクールでの竹イカダの資材としても活用

35

竹林は、森の学舎裏手にあたる場所で、会員と一般参加者に参加を呼びかけ、年間に数回の活動日を設け、約0.05ha程度を奥行き約20mまでにある竹を伐採して行

40

3. 地域の自然環境などを理解してもらうための啓発活動

(1) ecoスクール（五期四季をまるごと体験ecoスクール）

地域の小学生及び保護者に対して、パン作りによる食と環境を切り口に、同一の参加者が、年間（四季）を通して、四季折々の自然環境を遊びや観察等から学び、麦栽培や酵母作り等の農業体験、そして農業体験を通して自分たちで作った食材料からパン作りを経験します。輸入に頼らなくても食が可能であることを実感し、食べ残しを極力少なくすることや食品の輸入による過大なエネルギーを減少させることで、地球環境への負荷を少なくした生活を実践してもらうための気づきを促します。自然環境を遊びや観察、農業等の原体験を通して、中山間地域である里山の自然環境の大切さと保全の必要性を学習する下記のプログラムを提供

50

- ① ネイチャーゲームで、身近な植物・生き物・森林について五感を通して自然の大切さを知る。
- ② 竹でイカダを作り、竹のイカダで川を下りながら川の清掃をする。
- ③ 海水を釜戸で沸かして塩とにがりを採取する。
- 5 ④ 昨年度エコスクールで育てた麦を収穫し、昔の道具で脱穀や脱ふんを行い、石臼で挽いて小麦粉を作る。
- ⑤ 麦を収穫した後に、大豆を播き育てる。
- ⑥ ダンボール・コンポストを使って麦畑の堆肥を作る。
- ⑦ 収穫した小麦を麦種として畑に蒔く。麦畑で育った小麦は次年度のエコスクールで使用
- 10 する。
- ⑧ パンの材料である天然酵母を身近な果物で作る。
- ⑨ パンの材料であるバター作り方を近辺の乳牛農家で学び、酪農体験（生乳を搾り、牛の世話等）を体験する。
- ⑩ 石臼で挽いた小麦粉・手作り塩・天然酵母・手作りバターを使い石釜でパンを焼く。
- 15 ⑪ 旬の野菜を調理する。また、育てた大豆と塩作りで採取したにがり豆腐を作る。
- ⑫ 川の生きもの調査と昆虫観察を通して、人間が自然を壊すことなく多くの生物のいのちをみんなでつないでいこうという想いをつける。
- ⑬ 加工食品や調味料にも目を向け、原料の生産地まで関心を持つことで、運ばれてくる時に排出される二酸化炭素の量に気づき、これからの輸入食品との付き合い方を考える。
- 20 ⑭ 文集の制作。

- ・講師依頼：ネイチャーゲームは、フェニックス宮崎シェアリングネイチャーの会にネイチャーゲーム・リーダーの派遣を依頼しています。ダンボールコンポストは、宮崎ダンボールコンポスト県北支部に指導者の派遣を依頼します。昆虫観察は、
- 25 昆虫写真家の新開孝さんに依頼します。
- ・開催月：5月～翌年3月（計12回）
- ・参加数：25人（県北地域の小学生4年生から6年生及び保護者）
- ・場 所：森の学舎
- ・助 成：子どもゆめ基金

30

（2）川を活用した自然体験交流（川をたのしく親しもう）

ネイチャーゲームで、自然をさまざまな感覚や心を通じて理解し自然と自分が一体である、川あそびをとおして自然の豊かさを楽しみ、自然や里山等の大切さを体験を通して学びます。

- 35 ① 「森の学舎」の前に流れている五十鈴川で魚や蝦捕りをして、川で暮らす生き物の名前を覚える。生き物の名前を覚えることで、自然環境に興味と親しみがわき、自然環境の大事さを感じることができる。
- ② 川をたのしみ親しむために、ネイチャーゲームを川で実施する。川の自然と人間生活が密接に関係していることを学習する。

- 40 ・講師依頼：ネイチャーゲームは、フェニックス宮崎シェアリングネイチャーの会にネイチャーゲーム・リーダーの派遣を依頼します。
- ・開催日：8月2日
- ・参加数：25人（子ども15人と大人10人が目安）
- ・場 所：森の学舎と五十鈴川
- 45 ・助 成：子どもゆめ基金

（3）森林を活用した環境学習（仮称「森にまなぼう」）

樹木は、私たちの生活において排出された二酸化炭素を吸収し、私たちの生活に必要な酸素を供給してくれていること、子どもたちの健全育成に必要な資源を提供していることの学習、

50 ドングリ苗木の育て方、ドングリを使った工作を通して、自然の豊かさを楽しみ自然の大切さ

を学びます。また、森林が水を含む良質な環境の源であることを理解し、山に植樹するための苗木を自宅でドングリから育てます。参加者が育てたドングリの苗木は、数年後に地域の山への植樹へと発展させるプログラムです。

5 昨年度までは、「森で過ごそう！森に学ぼう！」の名称で開催していましたが、毎回参加者が少ないため今年度は、内容を一部変更し、理事会で名称を変更決定して開催します。

① 小学校低学年が理解できる森林環境学習により、森林の大切さについてを知ってもらう。

② 竹を玉きりにして節を利用したポットに、腐葉土を入れてドングリを植える。竹のポットは、参加者が自宅で苗木に育て、2年後に山へ戻す。

10 ③ 小枝や葉っぱ、ドングリ等の自然素材で、参加者がオリジナルのクラフト作品を作る。自然にある物で十分に遊ぶことができることで、自然への愛着を促す。

・開催日：12月6日

・参加数：20人

・場 所：森の学舎

15 ・助 成：森林づくり活動支援（予定）

4. 市民活動の活性化に関わる企画、コーディネート事業

20 地域の課題に対して何かの役に立ちたいと思い、地域活動に参画する意向のある人は増えてきています。そうした動きに対して行政も、地域の活性化、雇用の確保、行政サービスの補完等の観点で関心を持っています。しかし、意欲のある人や団体でも、具体的な始め方、仲間や協力者の見つけ方、必要な知識やスキルの身に付け方等、いくつかのハードルの存在が想定されます。従って、それらを克服し、参加意欲を実際の行動に結び付けていけるような支援の仕組みを地域に構築することの必要性があります。

25

(1) 協働商談会事業

県北地区において、行政とNPO等とが話し合いや意見交換をする機会を設けることで、行政や企業とNPO等とを結び付け、新しい協働を創出する「協働商談会」の企画開催は、今年度の「協働商談会」の公募に対して応募するか否かは、理事会で検討したいと思います。

30

5. 活動の情報発信・啓発のための事業

35 活動を開催日前に告知することで活動の参加者を募集し、活動の内容を情報発信することで子どもの森の活動への理解を通して、自然環境の大切さ、地域を良くするための協働への参画を促していきます。

(1) Webサイトの運営

子どもの森のすべての活動と自然環境啓発等を、Webページにて発信していきます。また、Webページでは発信しない情報は、facebookにより発信していきます。

40

(2) 機関紙の発行

子どもの森の前年度活動と自然環境啓発等を、機関紙「子どもの森通信12号」を、発行することで情報発信をします。発行時期は、5月とします。

(3) 事業案内チラシの作成

各事業を開催する2ヶ月前までに、宮崎県や関係行政機関等の後援を申請して、それぞれの事業や活動の案内チラシや参加者募集チラシを作成します。

6. その他目的を達成するために必要な事業

50

(1) 活動拠点「森の学舎」の活用と整備

平成18年11月に、公募により門川町から譲与を受けた旧西門川小学校松瀬分校は、平成20年度に、日本財団と連合愛のキャンパからの助成金を受け、会員その他ボランティアによって修繕を進めてきました。また、ボーイスカウト等の団体を含めた一般開放、森林や環境等の図書や児童書・絵本を整備して環境文庫の設置などの整備を行ってきました。そして、平成21年度は、セブン-イレブンみどりの基金と門川町まちづくりプレイヤー支援、連合愛のキャンパからの助成を受け、五右衛門風呂小屋と釜戸小屋の製作と、薪ストーブの設置、環境関連図書の購入を進めてきました。

行政が絡んでいない民間団体での廃校活用は他に例がなく、森の学舎は廃校になった学校の先駆的な活用例として注目をされています。森の学舎と周辺地域との関係も視野に入れ、環境問題を切り口とした地域コミュニティとしての役割など、廃校の更なる活用も目指していかなくてはなりません。

平成22年度で、急ぎ必要な森の学舎の整備は終わったと思われます。これからは、どのような整備が必要かを検討しながらの整備を進めていきます。そのための資金として、特別積立金の設定をしたいと思えます。また、森の学舎の開放と森の学舎で行なう環境学習の依頼があれば受入をしていきます。また、梅雨時期に、グラウンドの草刈りを実施します。

また、森の学舎を開放することや環境学習等の要請があれば受け入れていきたいと思えます。

(2) 子どもの森が加盟する団体

今年も引き続き「みやざき森づくりボランティア協議会」に、団体会員として加盟します。同協議会での総会や研修会への参加をすることで、同じ森づくりや環境問題に取り組んでいる団体との交流ができます。また、同協議会が開催する研修会では、森づくり活動への考え方や森林作業の学習等を学べます。宮崎県内の森づくりを実施している団体の相互協力と交流、森づくりの研修が、本協議会の活動の中心となっています。

今年度も、協議会が開催する総会や研修、シンポジウムへの参加や協力を行っていきます。

みやざき森づくりボランティア協議会加盟団体

NPO 法人みやざき子ども文化センター（宮崎市）、木崎浜松林を守る会（宮崎市）、水源の森づくりをすすめる市民の会（宮崎市）、どんぐり1000年の森をつくる会（山之口町）、にわとこの会（日南市）、延岡アースディ実行委員（延岡市）、日向市ふるさとの自然を守る会（日向市）、宮崎グリーンヘルパーの会（宮崎市）、高千穂森の会（高千穂町）、ロキシー・ヒル（西都市）、MFV会（大分県竹田市）、NPO 法人子どもの森（門川町）、環の会（串間市）、NPO 法人ひむか里山自然塾（宮崎市）、NPO 法人ひめしゃら倶楽部（高千穂町）、日本熊森会宮崎支部（延岡市）、大塚台緑地林里山整備事業委員会（宮崎市）、ふる里のどんぐり森づくり会（北郷町）、NPO 法人H-i-m-a-g-i-n-e（宮崎市）、延岡チェーンソーアートレンジャー部隊（延岡市）、さるなしの里（日向市）、めぐみの森づくり会（椎葉村）			
--	--	--	--

7. 助成について

30

今年度の活動に関して予定している助成金は下表のとおりです。

助成名	助成元	助成事業	助成額
子どもゆめ基金	国立青少年教育振興機構	四季をまるごと体験 eco スクール	491千円 (確定)
		川をたのしく親しもう	115千円 (確定)
森林づくり活動支援	宮崎県森林環境税	森林を活用した環境学習	36千円 (予定)

議案Ⅱ. 平成27年度活動計画書(案)

平成27年度 特定非営利活動に係る活動計画書
(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

科目	金額		備考	
I 経常収益				
1. 受取会費				
正会員受取会費	91,000	121,000	正会員:17人×5,000、特別会員:1人×1,000+前年度未納5,000 6人×5,000	
賛助会員受取会費	30,000			
2. 受取寄付金				
受取寄付金	133,500	133,500	イオン黄色いシート、ろうきんNPO寄附金、個人寄付 他	
ボランティア受入評価益	--			
3. 受取助成金等				
受取助成金		642,000	子どもゆめ基金:606千、森づくり活動支援:36千	
4. 事業収益				
自主事業収益	194,100	194,100	各プログラム参加費、森林の学舎使用料	
委託事業収益	0			
5. その他収益				
雑収入		3,000	損害保険返戻、預金利息	
経常収益計			1,093,600	
II 経常費用				
1. 事業費				
(1)人件費				
給料手当	74,000	211,000	ecoスクール、春をたのしもう、川をたのしく、森にまなぼう 同上	
臨時雇賃金	137,000			
ボランティア評価費用	--			
人件費計				
(2)その他経費				
諸謝金	142,000	866,055	ecoスクール、川をたのしく、森で過ごそう ecoスクールチラシ印刷(業者)、川をたのしく・森にまなぼうはトナー代 森にまなぼう ecoスクール、春をたのしもう、川をたのしく、森にまなぼう 同上 ecoスクール他事業すべて	
印刷製本費	145,390			
Webページ運営費	7,500			
旅費交通費	131,470			
通信運搬費	12,568			
消耗品費	175,207			
損害保険料	40,920			
その他経費計	655,055			
事業費計				
2. 管理費				
(1)人件費				
給料手当	0	0		
臨時雇賃金	0			
ボランティア評価費用	--			
人件費計				
(2)その他経費				
修繕費	30,000	411,323	プリンター保守料 他	
諸謝金	0			
印刷製本費	0			
Webページ運営費	0			
旅費交通費	10,000			
通信運搬費	50,000			
消耗品費	50,000			
諸会費	3,000			
会議費	3,500			
研修費	5,000			
損害保険料	0			
租税公課	1,800			
施設管理費	150,000			
雑費	0			
減価償却費	108,023			
その他経費計	411,323			
管理費計				
経常費用計			1,277,378	
当期正味財産増減額			-183,778	
前期繰越正味財産額			2,060,932	
次期繰越正味財産額			1,877,154	

5 ※ecoスクール:第5期四季をまるごと体験ecoスクール 川をたのしく:川を活用した自然体験交流
春をたのしもう:春の野草をたのしむ 森にまなぼう:森林を活用した環境学習

※会費 正会員：5,000円(ただし特別会員は1,000円) 賛助会員：5,000円

特別会員とは、社会に出る前の大学生や専門学校生と、同一世帯で2人め以降の正会員で、総会での議決権など、通常の正会員と同じ権利を有します。

※目的積立：将来の大規模な森の学舎修繕に備えた積立をおこないます。現在、雨漏りがあるためシートで応急処置をしていますが、修繕費が認められる助成金にて雨漏り修繕をしたいと考えています。その時に、目的積立を取り崩して自己資金部分に充当させます。

5

平成27年度事業別活動計画書

科目	ecoスクール	春をたのしもう	川をたのしく	(仮)森にまなぼう	妖精の森	森の学舎整備	事業部門計	管理部門	合計
I 経常収益									
1. 受取会費									
正会員受取会費	--	--	--	--	--	--	--	91,000	91,000
賛助会員受取会費	--	--	--	--	--	--	--	30,000	30,000
2. 受取寄付金									
受取寄付金	0	0	0	23,500	0	0	23,500	110,000	133,500
ボランティア受入評価益	66,000	16,925	16,000	6,000	6,000	140,000	250,925	180,000	430,925
3. 受取助成金等									
受取助成金	491,000	0	115,000	36,000	0	--	642,000	--	642,000
4. 事業収益									
自主事業収益	150,000	11,100	17,000	12,000	0	0	190,100	4,000	194,100
委託事業収益	--	--	--	--	--	--	0	--	0
5. その他収益									
雑収入	--	--	--	--	--	--	--	3,000	3,000
経常収益計	707,000	28,025	148,000	77,500	6,000	140,000	1,106,525	418,000	1,524,525
II 経常費用									
(1)人件費									
給料手当	57,000	0	9,000	8,000	0	0	74,000	0	74,000
臨時雇賃金	102,000	0	27,000	8,000	0	0	137,000	0	137,000
ボランティア評価費用	66,000	16,925	16,000	6,000	6,000	140,000	250,925	180,000	430,925
人件費計	225,000	16,925	52,000	22,000	6,000	140,000	461,925	180,000	641,925
(2)その他経費									
修繕費	--	--	--	--	--	--	--	30,000	30,000
諸謝金	98,000	0	44,000	0	0	0	142,000	0	142,000
印刷製本費	94,510	0	11,880	39,000	0	0	145,390	0	145,390
Webページ運営費	0	0	0	7,500	0	0	7,500	0	7,500
旅費交通費	103,400	1,520	24,550	2,000	0	0	131,470	10,000	141,470
通信運搬費	11,968	0	0	600	0	0	12,568	50,000	62,568
消耗品費	137,122	8,785	14,400	4,900	5,000	5,000	175,207	50,000	225,207
諸会費	--	--	--	--	--	--	--	3,000	3,000
会議費	0	0	0	0	0	0	0	3,500	3,500
研修費	--	--	--	--	--	--	--	5,000	5,000
損害保険料	37,000	0	1,920	2,000	0	0	40,920	0	40,920
租税公課	--	--	--	--	--	--	--	1,800	1,800
施設管理費	--	--	--	--	--	--	--	150,000	150,000
雑費	--	--	--	--	--	--	0	0	0
減価償却費	--	--	--	--	--	--	--	108,023	108,023
その他経費計	482,000	10,305	96,750	56,000	5,000	5,000	655,055	411,323	1,066,378
経常費用計	707,000	27,230	148,750	78,000	11,000	145,000	1,116,980	591,323	1,708,303
当期経常増減額	0	795	△ 750	△ 500	△ 5,000	△ 5,000	△ 10,455	△ 173,323	△ 183,778

※ボランティア受入評価益とボランティア評価費用について

活動報告書には、反映させていません。

事業部門は1日一人の作業ボランティア参加を4Hまたは5Hまでとし、宮崎県の最低賃金にて計上しています。

管理部門と事業部門の事務処理は実時間で、宮崎県の最低賃金にて計上しています。

10

議案Ⅲ. 役員改選(案)

役職	氏名	就任期間	報酬について
理事長	横山 謙一	平成27年4月1日～平成29年3月31日	報酬無
理事	井澤 光一		
	鵜戸 隆司		
	工藤 恵理香		
	横山 純子		
監事	黒木 伸光		

《資料1》会員一覧

(敬称は略します)

横山 純子	熊本県	日高 睦雄 (賛助)	門川町
横山 謙一 (特別)	熊本県	藤川 勝 (賛助)	延岡市
中山 誠一 (賛助)	横浜市	徳田 純一	延岡市
山内 清和	都農町	井澤 光一	延岡市
濱田 秀生 (賛助)	横浜市	鶴戸 隆司	都城市
田中 公宜	延岡市	松下 京	門川町
猪崎 悦子	宮崎市	黒木 伸光	日向市
丸野 由美子	延岡市	金子 恭子	延岡市
吉田 美和子	宮崎市	麻田 百合子	日向市
井本 栄一 (賛助)	宮崎市	浅見 弥生	延岡市
工藤 恵理香	日向市	落合 慶太	宮崎市
猪須 寛司 (賛助)	延岡市	黒木 美江	日向市
満留 紀子	西都市		

(特別) : 特別会員、(賛助) : 賛助会員

5 《資料2》機具一覧

平成27年3月31日現在

機具	メーカー品名	取得価格	数量	金額	取得年月日	使用助成金等
権茸用ドリル	マキタ D2011	6,060	1	6,060	2005/02/10	
刈払機	マキタ MEM262	34,944	1	34,944	2005/06/09	日本財団
刈払機	マキタ MEM262L	35,404	1	35,404	2005/06/09	日本財団
エンジンチェーンソー	マキタ ME333	32,695	1	32,695	2005/06/18	日本財団
チェーンソー	新タテワ GSE50-W	253,050	1	253,050	2005/07/16	日本財団
エンジンチェーンソー	マキタ ME333	32,440	1	32,440	2005/11/15	赤い羽根
権茸用ドリル	マキタ D2011	14,200	2	28,400	2005/11/15	赤い羽根
権茸用ドリル	マキタ D2011	15,000	1	15,000	2006/02/23	赤い羽根
発電機	新タテワ G2400-B	60,409	1	60,409	2005/07/25	赤い羽根
インパクトと本体のみ	マキタ TP130D×2	83,953	1	83,953	2007/08/15	H19年度森林づくり活動
刈払機	マキタ MEM264W	31,800	1	31,800	2007/09/16	まちづくりアレーヤ支援
エンジンチェーンソー	新タテワ E1039S-400	70,000	1	70,000	2007/10/10	H19年度森林づくり活動
スライド丸ノコ	マキタ LS0611	63,000	1	63,000	2008/07/25	ふるさと愛の基金
ラミネータ	日本GBC GLM210	10,950	1	10,950	2008/07/25	ふるさと愛の基金
刈払機	マキタ MEM264L	31,800	1	31,800	2008/08/15	H20年度森林づくり活動
エンジンチェーンソー	スチール MS-200	68,600	1	68,600	2009/07/30	H21年度森林づくり活動
テーブルソー	E-Valle ETS-10KN	17,500	1	17,500	2009/09/20	H21年度森林づくり活動
グラインダー	日立	7,777	1	7,777	2009/10/03	H21年度まちづくりアレーヤ支援
A3ラミネーター	オム電気 LAM-902N	5,477	1	5,477	2009/10/29	H21年度森林づくり活動
刃物グラインダー		13,152	1	13,152	2010/07/10	H22年度森林づくり活動
チェーンソー	大橋GS121GB	1,330,350	1	1,330,350	2010/10/30	H22年度緑の募金
エアコンプレッサ	GP-100	11,575	1	11,575	2010/11/05	H22年度緑の募金
		-11,575	1	-11,575		※故障の為H23年度廃棄
耕うん機	ホンダ ビアンタ	102,600	1	102,600	2011/06/03	H23年度マシンクラブ
エアコンプレッサ	PUMA SR102	17,799	1	17,799	2011/11/12	
炭窯	ナギ製作所 T105型	399,000	1	399,000	2012/05/02	H23年度緑の募金
薪割機	カトニLS-4油圧式	32,400	1	32,400	2012/07/14	H24年度緑の募金
卓上シーラー	FR-400A	3,980	1	3,980	2012/08/28	H24年度緑の募金
ホームベーカリー		4,978	1	4,978	2013/05/24	
充電式レシプロソー	マキタJR141充電器バッテリー	38,784	1	38,784	2013/07/04	H25年度森林づくり活動
充電式レシプロソー	マキタJR141本体のみ	23,409	1	23,409	2013/07/04	H25年度森林づくり活動
マキタカムイオンバッテリーパック	マキタJR141用	11,200	1	11,200	2013/10/07	H25年度森林づくり活動
掃除機		19,000	1	19,000	2015/01/05	

《資料3》備品一覧

平成27年3月31日現在

備品	メーカー品名	取得価格	数量	金額	取得年月日	使用助成金等
ヘルメット	五心産業 GS-33	1,605	10	16,050	2005/05/31	日本財団
電工ドラム	畑屋製作所E-30C	4,723	1	4,723	2005/07/25	赤い羽根
刈払作業用すねあて		1,980	2	3,960	2005/06/09	
防じんメガネ	トヨセフイティ No1400	1,974	3	5,922	2005/06/09	
飯盒		997	8	7,976	2006/07/22	ホランティ7基金
ターフテント		9,978	1	9,978	2006/07/23	ホランティ7基金
ターフテント		6,990	1	6,990	2006/08/02	ホランティ7基金
トイレ用テント		4,179	1	4,179	2006/11/29	H18年度森林づくり活動
カタログスタンド	(チラシ広報用)	1,090	1	1,090	2006/11/29	H18年度森林づくり活動
砥石と砥石台		2,054	1	2,054	2007/03/04	H18年度森林づくり活動
クーラーボックス		3,477	1	3,477	2007/07/26	H19年度森林づくり活動
飯盒		997	2	1,994	2007/07/26	労金NPO助成
道具倉庫		9,750	1	9,750	2007/08/12	H19年度森林づくり活動
脚絆		1,012	20	20,240	2007/08/14	H19年度森林づくり活動
虫除けカバー		700	20	14,000	2007/08/14	H19年度森林づくり活動
携帯砥石		900	10	9,000	2007/08/15	H19年度森林づくり活動
充電器セット	充電池4本含	3,978	1	3,978	2007/08/18	H19年度森林づくり活動
フェンソアタッチメント用レール	手作りのため材料費	3,392	1	3,392	2007/09/02	H19年度森林づくり活動
焼印電気こて	(子どもの森)	8,080	1	8,080	2007/11/05	九州ろうきんNPO助成
双眼鏡	ニコン	6,500	1	6,500	2007/12/05	九州ろうきんNPO助成
双眼鏡	ハンディM10×21	3,150	14	44,100	2007/12/13	九州ろうきんNPO助成
一輪車		5,880	1	5,880	2008/01/27	H19年度森林づくり活動
防じんメガネ	トヨセフイティ No1400	1,974	5	9,870	2008/08/15	H20年度森林づくり活動
セーフティヘルメット		3,438	12	41,256	2008/09/09	H20年度森林づくり活動
		3,438	-2	-6,876		破損のためH24年廃棄
本ボックス		2,500	10	25,000	2008/10/11	H20年度連合愛のキャンパ
座椅子		3,800	10	38,000	2008/10/11	H20年度連合愛のキャンパ
水タンク	100L	10,868	1	10,868	2008/10/25	H20年度連合愛のキャンパ
防水補助コード		1,480	1	1,480	2008/10/31	H20年度連合愛のキャンパ
ストーブ	トヨミツ	16,640	1	16,640	2009/02/09	H20年度県NPO協働事業
ヘルメット		2,350	15	35,250	2009/02/18	H20年度県NPO協働事業
箱メガネ		1,890	2	3,780	2009/07/10	H21年度セブンスイブ
箱メガネ		1,700	4	6,800	2009/07/18	H21年度セブンスイブ
飼育ケース		149	12	1,788	2009/07/25	H21年度セブンスイブ
子供用ライフジャケット		2,153	12	25,830	2009/08/31	H21年度黄色いレシート
デプス調整器		3,410	1	3,410	2009/09/20	H21年度森林づくり活動
ホース	30m	4,977	1	4,977	2009/10/12	H21年度まちづくりプレイヤー支援
巻尺	10m	280	10	2,800	2009/11/13	H21年度まちづくりプレイヤー支援
タフエントハイトゲージ		3,476	10	34,755	2009/11/16	H21年度森林づくり活動
消火器		3,980	1	3,980	2009/12/16	H21年度連合愛のキャンパ
ヘルメット		2,400	10	24,000	2009/12/17	H21年度県NPO協働事業
羽釜、鍋、釜蓋		21,160	1	21,160	2009/12/23	H21年度セブンスイブ
メガホン	壁掛け器具付き	12,500	1	12,500	2010/01/04	H21年度県NPO協働事業
温度計	非接触型	10,290	1	10,290	2010/01/06	H21年度連合愛のキャンパ
薪ストーブ・煙突	設置一式	131,215	1	131,215	2010/02/03	H21年度連合愛のキャンパ
ヘルメット		2,400	5	12,000	2010/06/15	H22年度森林づくり活動
ライフジャケット	幼児用	1,990	3	5,970	2010/07/10	H22年度まちづくりプレイヤー支援
ライフジャケット	フリーサイズ	2,380	10	23,800	2010/07/23	H22年度まちづくりプレイヤー支援
ライフジャケット	フリーサイズ	2,380	20	47,600	2010/07/23	H22年度協働モデル事業
箱メガネ		1,700	10	17,000	2010/07/23	H22年度まちづくりプレイヤー支援
コンテナカー		7,700	1	7,700	2010/08/14	H22年度森林づくり活動
ハロゲンランプ		4,980	1	4,980	2010/12/05	H22年度協働モデル事業
ゴムボート	アキレスEC4-642	43,214	1	43,214	2011/06/18	H23年度セブンスイブ
箱メガネ		1,700	6	10,200	2011/06/18	H23年度セブンスイブ
ゴムボート	アキレスEC4-642	35,430	1	35,430	2011/07/20	
ライフジャケット	子供用	1,113	6	6,678	2011/07/29	
簡易型木酢液採集装置	研製製作所	23,100	1	23,100	2012/05/02	H23年度緑の募金
2点式デジタル温度計	研製製作所	11,130	1	11,130	2012/05/02	H23年度緑の募金
ライフジャケット	子供用	2,580	7	18,060	2012/06/25	H24年子どもゆめ基金
箱メガネ		1,580	10	15,800	2012/07/06	H24年子どもゆめ基金
水用ヘルメット	子供用(S)	5,600	8	44,800	2012/08/09	H24年子どもゆめ基金
水用ヘルメット	子供用(M)	5,600	5	28,000	2012/08/09	H24年子どもゆめ基金
鍋		8,554	1	8,554	2012/08/15	H24年子どもゆめ基金
簡易羽釜		4,774	2	9,548	2012/08/15	H24年子どもゆめ基金
チャップス	MT565	12,300	2	24,600	2013/05/17	H24年度緑の募金
ホームベーカー		4,978	1	4,978	2013/05/24	
からからつみき		6,800	2	13,600	2013/06/26	H25門川町まちづくりプレイヤー
ライフジャケット	フリーサイズ	2,940	3	8,820	2013/07/17	H25年子どもゆめ基金
森のこっば(積木)		17,640	1	17,640	2013/09/03	H25門川町まちづくりプレイヤー
ライフジャケット	子供用	2,980	2	5,960	2013/07/17	H25年子どもゆめ基金
ライフジャケット	子供用		2	4,315	2014/07/20	H26年子どもゆめ基金

《資料4》道具一覧

平成27年3月31日現在

道具	メーカー品名	取得価格	数量	金額	取得年月日	使用助成金等
枝打ち梯子	ヒカ SWE302 (3m)	17,745	1	17,745	2005/06/29	日本財団
造林鎌 (100センチ)		4,800	3	14,400	2005/06/18	日本財団
造林鎌 (70センチ)		2,900	4	11,600	2005/06/18	日本財団
中厚鎌 (195)		1,253	1	1,253	2005/06/18	日本財団
中厚鎌 (165)		1,449	2	2,898	2005/06/18	日本財団
腰鉈 (6寸)		4,505	1	4,505	2005/06/18	日本財団
腰鉈 (5寸)		4,106	1	4,106	2005/06/18	日本財団
鋸		2,762	2	5,524	2005/06/18	日本財団
畑鍬		3,413	1	3,413	2005/06/18	日本財団
十字鍬		3,990	1	3,990	2005/06/18	日本財団
高枝はさみ		6,500	1	6,500	2005/06/18	日本財団
剪定はさみ		2,580	1	2,580	2005/06/18	日本財団
刈込はさみ		2,142	1	2,142	2005/06/18	日本財団
手鍬		924	3	2,772	2006/03/19	
ハンマー大		3,020	1	3,020	2006/01/21	
ハンマー		924	1	924	2005/12/07	
竹挽き鋸		2,079	2	4,158	2006/07/22	ホランティフ基金
折込鋸		1,029	3	3,087	2006/07/22	ホランティフ基金
高枝はさみ		1,956	3	5,868	2006/11/28	ホランティフ基金
剪定はさみ		387	10	3,870	2006/11/28	ホランティフ基金
造林鎌 (70センチ)		2,982	13	38,766	2006/12/05	H18年度森林づくり活動
腰鉈 (6寸)		4,505	1	4,505	2006/12/05	H18年度森林づくり活動
鉈 (35号)		3,759	1	3,759	2006/12/05	H18年度森林づくり活動
鉈 (40号)		3,822	1	3,822	2006/12/05	H18年度森林づくり活動
鋸		2,762	2	5,524	2006/12/05	H18年度森林づくり活動
十字鍬		3,812	4	15,248	2006/12/05	H18年度森林づくり活動
スコップ		1,554	2	3,108	2006/12/05	H18年度森林づくり活動
鉈 (30号)		3,665	2	7,330	2006/12/24	H18年度森林づくり活動
熊手		2,037	3	6,111	2007/03/04	H18年度森林づくり活動
スコップ		1,750	2	3,500	2007/08/15	H19年度森林づくり活動
スモールログミル	クランパーク製ソ-ミルG777	23,760	1	23,760	2007/08/24	H19年度森林づくり活動
チェーンソー		7,900	1	7,900	2007/08/24	H19年度森林づくり活動
バール	120cm	2,350	1	2,350	2008/03/29	H19年度森林づくり活動
バール	120cm	2,350	1	2,350	2008/12/14	H20年度森林づくり活動
片手ケヤカ		1,418	4	5,672	2009/08/15	H21年度森林づくり活動
2丁差鉈 (7寸)・鋸		11,477	4	45,908	2009/08/15	H21年度森林づくり活動
片手鎌	185mm	1,344	4	5,376	2009/08/15	H21年度森林づくり活動
竹割鉈	180mm	3,032	4	12,128	2009/08/15	H21年度森林づくり活動
竹挽鋸	TB-27	2,293	2	4,586	2009/08/15	H21年度森林づくり活動
竹割器	大8割	5,229	1	5,229	2009/08/15	H21年度森林づくり活動
充電式チェーンソー		10,000	1	10,000	2009/08/15	H21年度森林づくり活動
バール	150cm	3,980	1	3,980	2009/08/15	H21年度森林づくり活動
竹割器	大6割	5,480	1	5,480	2009/10/05	H21年度森林づくり活動
竹割器	中3割	2,180	1	2,180	2009/10/05	H21年度森林づくり活動
竹割器	小3割	1,750	1	1,750	2009/10/05	H21年度森林づくり活動
竹割器	大4割	4,480	2	8,960	2009/11/11	H21年度森林づくり活動
溝カンナ		2,475	1	2,475	2010/11/21	H21年度セブンスイルバン
穴掘り器		3,980	1	3,980	2010/03/31	
造林鎌 (70センチ)		3,278	5	16,390	2010/08/21	H22年度森林づくり活動
斧 (1.5k)		6,983	1	6,983	2010/08/21	H22年度森林づくり活動
竹割器	大6割	5,477	1	5,477	2010/09/29	H22年度森林づくり活動
鍬		1,577	4	6,308	2011/10/10	H23年度セブンスイルバン
鍬		800	3	2,400	2011/10/10	H23年度セブンスイルバン
すき鍬		800	2	1,600	2011/10/10	H23年度セブンスイルバン
鍬		800	-1	-800		破損のためH23年廃棄
鍬		1,577	2	3,154	2011/10/11	H23年度緑の募金
鍬		1,000	1	1,000	2011/10/11	H23年度緑の募金
2丁差鉈 (7寸)・鋸		2,295	1	2,295	2011/10/11	H23年度緑の募金
造林鎌 (90センチ)		2,977	5	14,885	2012/01/14	H23年度緑の募金
腰鉈・鋸		2,295	5	11,475	2012/01/14	H23年度緑の募金
鋸	竹用	2,762	5	13,810	2012/01/14	H23年度緑の募金
山鍬 (小)	日の丸	3,581	3	10,743	2012/03/11	H23年度森林づくり活動
山鍬 (中)	日の丸	3,633	2	7,266	2012/03/11	H23年度森林づくり活動
造林鎌 (70センチ)		3,287	1	3,287	2012/03/11	H23年度森林づくり活動
唐鍬 (小)	日の丸	3,581	2	7,162	2012/03/11	H23年度緑の募金
唐鍬 (中)	日の丸	3,633	2	7,266	2012/03/11	H23年度緑の募金
バチ鍬		1,980	3	5,940	2012/03/11	H23年度緑の募金
唐鍬	金像印	1,580	1	1,580	2012/03/11	H23年度緑の募金
のこぎり		3,177	2	6,354	2012/03/18	H23年度森林づくり活動
稲刈鎌		420	4	1,680	2012/05/06	H24年度子どもゆめ基金
稲刈鎌		480	7	3,360	2012/05/06	H24年度子どもゆめ基金
稲刈鎌		618	7	4,326	2012/05/06	H24年度子どもゆめ基金
稲刈鎌		980	6	5,880	2012/05/06	H24年度子どもゆめ基金
山鍬 (小)	日の丸	4,180	5	20,900	2013/03/20	H24年度森林づくり活動
稲刈鎌		175	1	175	2013/05/11	H25年度子どもゆめ基金
相鎌		2,380	10	23,800	2013/05/13	H24年度緑の募金
二丁差 (鉈、鎌)	藤原産業	9,282	5	46,410	2013/05/15	H24年度緑の募金
丸パス		1,180	1	1,180	2013/05/24	H24年度緑の募金
丸パス		695	1	695	2013/05/24	H24年度緑の募金
折尺		250	2	500	2013/05/24	H24年度緑の募金
両刃叩き		10,440	1	10,440	2013/10/31	

平成27年度活動日程（予定）

H27年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
4月	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	昭	木		
					春をたのしもう							理事会/監査																	総会			
5月	金	土	憲	み	こ	振	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	
	学舎整備/ecoスクール準備→5/5															ecoスクール														ecoスクール	ecoスクール準備	
6月	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火		
						ecoスクール準備							学舎草刈り							ecoスクール												
7月	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	海	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	
											ecoスクール														ecoスクール							
8月	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	
	川をたのしく																															
9月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	敬	国	秋	木	金	土	日	月	火	水		
					ecoスクール																				竹林整備							
10月	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	休	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	
											ecoスクール																					
11月	日	月	文	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	勤	火	水	木	金	土	日	月		
	ecoスクール							ecoスクール準備						ecoスクール															森にまなぼう準備			
12月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	天	木	金	土	日	月	火	水	木	
						森にまなぼう																										
H28年	元	土	日	月	火	水	木	金	土	日	成	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	
1月															ecoスクール																竹林整備	
2月	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	建	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月			
																						ecoスクール										
3月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	春	振	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	
						ecoスクール																										
4月	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	昭	土	日	
			春をたのしもう								理事会/監査																		総会			

理事会：随時開催

竹林整備（妖精の森）：竹伐採・竹チップづくり・竹粉づくり・竹棚づくり、竹炭焼き

ecoスクール(四季をまるごと体験ecoスクール)：子どもとその保護者への環境教室(同じ参加者による)

川をたのしく(川をたのしく親しもう)：川を活用しての自然体験交流

森にまなぼう：森林を活用した環境学習

春をたのしもう：野草の学習と料理

学舎整備：森の学舎の施設整備

学舎草刈り：森の学舎の広場草刈り

その他・関連して

子どもの森HP・facebook 運営、子どもの森通信の発行（5月末）、各活動の案内チラシ作成と参加者募集、カブトムシ飼育、椎茸収穫、土日の環境文庫オープン



事務局/森の学舎：宮崎県東臼杵郡門川町大字川内字イカダ場 3412 番地 1

TEL 0982-95-7800 携帯：080-2696-5180

FAX 0982-63-0009

<http://www.kodomonori.info>

office09@kodomonori.info

facebook <https://www.facebook.com/npo.kodomonori>

協働創出市サイト <http://kyoudou.info>